

一般社団法人日本解剖学会 2018(平成30)年度第3回常務理事会議事録

日 時：2018年6月10日(日)13:00～16:50

場 所：東京医科歯科大学MDタワー18階 小会議室

出席者：岡部繁男(理事長)、木山博資、寺田純雄、仲嶋一範、八木沼洋行(以上常務理事)
阪上洋行(常任幹事)、片桐 淳、中村 聡(以上、口腔保健協会)

欠席者：松崎利行(常任幹事)

I. 会議記録の確認

以下の議事録が確認し、了承された。

- (1) 2018(平成30)年度第2回常務理事会(平成30年3月27日開催)議事録(案)
- (2) 2018(平成30)年度第1回理事会(平成30年3月27日開催)議事録(案)
- (3) 2018(平成30)年度定時社員総会(平成30年3月29日開催)議事録(案)

II. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の通りに報告された。

2018年3月分

入会者：正会員 3名、学生 1名

退会者：正会員 11名

2018年4月分

入会者：正会員 6名

退会者：正会員 6名、永年会員 1名、寄贈会員 1名

2018年5月分

入会者：正会員 4名、学生 2名

退会者：正会員 2名

逝去会員 1名

永野 禎子 氏(東京女子医科大学・元教授/永年会員)2018年4月21日逝去(享年83)

新規就任教授

船戸 弘正 先生(東邦大・医・解剖学・微細形態学・教授 平成30年4月1日就任)

大野 信彦 先生(自治医大・解剖学・組織学・教授 平成30年4月1日就任)

徳田 信子 先生(獨協医大・解剖学(マクロ)・教授 平成30年4月1日就任)

(2) 学会宛文書類について

資料に基づき、以下の通り報告があった。

① 通知・依頼：日本医学会より「『人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン』の改訂について」(周知依頼)他75件

② 書籍・定期通信 他：(一社)日本医療安全機構より「医療事故調査・支援センター平成29年(2017)年報」他18件

(3) 2019(平成30)年度支部学術集会開催予定について

資料に基づき、2019年度支部学術集会の開催予定が報告された。

(4) 各種委員会報告について

資料に基づき、第123回解剖学会総会・全国学術集会期間中に開催された各種委員会での議事内容が報告された。異分野から解剖学・口腔解剖学担当の新任教授に就任するケースも最近は少なくなく、そのような解剖学教育の経験が豊富でない新任教授に対する支援体制の必要性に関する教育・若手育成委員会からの意見について議論された。その結果、新任教授が他学の実習見学等を希望する場合には、近隣の大学を紹介するなどの支援を各支部長に依頼し、希望があればそのような紹介を行う旨を学会として教授就任時に通知することとした。また、教育・若手育成委員会において取り扱う内容が多岐に渡ることより委員会の分割の必要性や、若手研究者の学会への帰属意識やモチベーションを上げるために、若手研究者が参加し意見を述べる場の必要性に関して意見が出され、今後、検討することとした。

(5) 「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」改訂版について

資料に基づき、「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」改訂版において、利益相反状態の記載と報告が厳格化されたことと、手術手技研修に参加した講座の実施責任者が原則として慰霊祭に出席することなどの主な改訂点が報告された。

(6) 男女共同参画推進委員会企画ランチョンセミナーアンケートについて
資料に基づき、第123回解剖学会全国学術集会で開催された男女共同参画推進委員会企画ランチョンセミナーに関するアンケート結果の内容が報告された。

(7) その他
特になし。

2. 編集報告

(1) 解剖学雑誌及びA S I 刊行報告及び刊行予定

資料に基づき、ASI (Vol. 92 No. 3) の発送完了(2018年5月26日)と2019年9月刊行予定である解剖学雑誌(93巻1号)の掲載予定内容と入稿状況が報告された。

(2) A S I 購読状況及びロイヤリティについて

資料に基づき、シュプリンガー・ジャパン(株)からの2017年度のASIの購読、著作権に伴う解剖学会への支払い(480,697円)に関する通知内容(2018年4月19日付)が報告された。

(3) 広告バナー掲載について

資料に基づき、アウトリーチ委員会が第123回解剖学会全国学術集会時に展示業者へ賛助会員入会と広告バナーの案内を配布した結果、ウォルター・クルワー社より掲載希望があり、現在、掲載中であることが報告された。

(4) その他
特になし。

3. 企画・渉外報告

(1) 2018(平成30)年度奨励賞・認定解剖組織技術者功労賞候補者の募集について

資料に基づき、2018年度奨励賞・認定解剖組織技術者功労賞候補者の募集要項が説明された。奨励賞選考は例年通り会議形式で行い、Web会議システムを補助的に利用する方針であることが報告された。

(2) 2018(平成30)年度認定一級技術者資格試験について

資料に基づき、2018年度認定一級技術者資格試験要項の内容が報告された。

(3) 第123回日本解剖学会総会・全国学術集会アンケート集計結果について

資料に基づき、学術委員会で取りまとめた第123回日本解剖学会総会・全国学術集会アンケートの集計結果が報告された。Web回答形式での実施により例年を上回る239名の参加者からの回答が得られ、大会に対する評価は概ね良好であったことが報告された。個別の改善意見・コメント等とあわせて、次回以降の大会運営に反映させることとした。

(4) 第124回日本解剖学会総会・全国学術集会の準備状況について

資料に基づき、大会準備状況として、シンポジウムとワークショップの公募(締切2018年6月29日)が開始されたことが報告された。

(5) 2022(平成34)年度総会・全国学術集会開催校について

資料に基づき、2022(平成34)年度総会・全国学術集会開催希望の募集要項が報告された。

(6) 日本医学会報告・日本医学会連合報告

資料に基づき、①女性医師支援に関するアンケート調査結果、②第154回日本医学会において「医療手技修練のための献体解剖-我が国における現状と課題」のテーマでシンポジウムが開催予定であること、③日本医学会連合からの基礎部会の連携推進策(医学部学生リトリートの開催、基礎部会所属学会の若手研究者による研究発表会の実施)に対する意見提出の依頼、④第30回日本医学会総会2019中部における「日本医学会総会奨励賞」候補者の学会推薦者の公募申請状況に関して報告された。日本医学会連合に対する提案内容に関しては賛同することで了承された。

(7) 日本脳科学関連学会連合報告

資料に基づき、日本脳科学関連学会連合第9回評議会(2018年6月8日開催)での議事内容が報告された。

(8) その他
特になし。

4. 会計報告

(1) 2019年(平成30)年度中間決算書について

資料に基づき、平成30年度5月次決算報告書(2018年1月1日~5月31日)の内容が説明された。

(2) その他
特になし。

Ⅲ. 審議事項

1. 新入会員の承認について
資料に基づき、2018年3月1日から5月31日に入会申請のあった一般会員13名、学生会員3名について審議の結果、新規入会が承認された。
2. 教授就任による代議員について
資料に基づき、教授就任に伴う以下の2名の代議員申請者について審議の結果、承認された。
船戸 弘正 先生（東邦大・医・解剖学・微細形態学・教授 平成30年4月1日就任）
大野 信彦 先生（自治医大・解剖学・組織学・教授 平成30年4月1日就任）
3. ヒト臓器マクロ写真の一般向け媒体への掲載について
資料に基づき、ヒト臓器マクロ写真の一般向け媒体への掲載の可否に関する会員からの問い合わせがあった場合の学会としての対応に関して審議された結果、様々な状況が想定されることから個別に対応することで了承された。
4. 入会申込書について
資料に基づき、入会申込書の記載事項の修正案が審議された結果、了承された。今後、修正案を次回理事会で諮ることとした。
5. 解剖学雑誌電子化について
資料に基づき、解剖学雑誌電子化の今後の方針が審議された結果、①現在欠本している解剖学雑誌(2巻5号、4巻3号、19巻3号、22巻9-12号)に関して、東京大学解剖学教室で保管されていることから、学会から当該教室責任者にこれらの欠本号の寄贈を依頼すること、②PDF化に関して、予算の関係から、本年度はまず初期の30巻程度を対象にして進めること、③PDF化した解剖学雑誌は、将来的には会員限定でホームページから閲覧できるようにすることが了承された。今後、取り込みの解像度などを検討し、PDF化を進めることとした。
6. 第124回総会・全国学術集会における委員会企画への助成審査について（企画渉外）
資料に基づき、委員会主催のワークショップ・シンポジウムへの助成申請内容が説明された。審査の結果、2件の助成が承認された。
7. 技術職員に関するアンケート（全国展開版）について（企画渉外）
資料に基づき、予備調査をもとに作成された技術職員に関するアンケート（全国展開版）の内容が説明され、審議の結果、幾つかの修正・改善点が指摘された。今後、これらの修正案を解剖体委員会、教育・若手育成委員会、および認定解剖組織技術者資格審査委員会において検討した後、全国アンケートを実施することで了承された。
8. 名誉会員への副賞作製について
資料に基づき、名誉会員への副賞の授与に関して審議された結果、次回より称号記とともに副賞としてメダルを授与することで了承された。
9. 8thAPICAについて（理事長）
資料に基づき、韓国解剖学会との継続的な学術的交流関係に関する海外交流委員会での議事内容が説明され、審議の結果、①韓国解剖学会の活動内容について十分に把握し、両学会間の協定の締結に向けて進めていくこと、②8thAPICAへの若手研究者3名の派遣に対して渡航費を援助することが承認された。
10. 日本生理学会2018-2022年度他学会連携委員会委員就任のお願い（理事長）
資料に基づき、日本生理学会2018-2022年度他学会連携委員会委員候補に関して審議され、両学会の学術的交流に貢献できる適任者を検討して就任を依頼することで了承された。
11. その他
特になし。